

にいがた 新築大作戦

12

私の専門は建築ですが、その中でも住宅の性能評価がライフワークです。県内の五業者を対象にてつて住宅の設計コン

新規生地は「熱貫通系」
では断熱性能と気密性
能に関して数値で示し
ました。

注書きを作りました。注書きは、暖房時の室内の数値は、暖房時の室内の外の温度差が一度のときで評価されます。これと疑問に思う方もいるかに、一時間当たり室内か

《密性能は、住宅のすき間の「有効開口面積」で評価します。これは住宅全体に存在するすべてのすき間を集めて一つの開口と考へ、この面積を床面積で割った値で示されます。次世代省エネルギー基準では、本県のす

設計二ノペ(下)

性能・設備にも配慮

もじれあせ
んが、自動
車と同じよ
うに、住宅
にもれまわ
ります。最
なじじよく
のは断熱性
です。これ
や通風、遮
があります

この性能があ
れ、住宅広告
使われて いる
能や気密性能
以外にも採光

ルギーの量を、床面積で割った値で示されます。この係数は値が小さければ性能が良いことになります。国土交通省が決めている次世代省エネ基

自宅の発注書では熱損失係数が二・四以下、すな
間有効開口面積が一・五
平方㍍以下としました。

備か住宅の性能とバランスが取れていることが重要です。新潟では、暖冷房機器は家を建ててから買ってくるのが常識のようですが、しかし、本当に快適な室内環境を求める

に盛り込
五社か
面、立面
ました。
特にC
面積のP

みあした
ら提案され
を家内と
社の最も
ランは
この平面

れた平
検討し

満足する
ませんで、
能について
十分な点が
各社の提案
家内と二つ
再度検討す

プランはあり
ました。特に性
の提案が不
満でした。
を参考に、
でプランを
るところになり

**断熱性能や気密性能は
住宅金融公庫の割り増し
融資の対象にもなって**

準では、
二・七ワッ
す。

新潟市の場合、

切なのが設備です。特に
高断熱・高気密住宅で
は、暖冷房設備や換気設

なら、家の設計段階で暖
冷房設備の選定を行う必
要があります。

しまつて
にはなか
つてしま

、小さな
なが戻れ
います。

プラン
なくな

（赤林伸
科学研究科
ました。

一・新大自然
助教受)

き間の有效開口面積を、
床面積一平方メートル当たり五
平方センチ以下としていま

■わが家の発注仕様書（性能・設備）■

住宅の性能と設備	
気密性能	すき間の有効開口面積 1.5 cm^2 以下
断熱性能	熱損失係数 2 W 以下 基礎断熱 屋根断熱、 窓は木製サッシ+ペアガラス
暖房設備	1つのシステムで家全体を暖房 部屋ごとに個別に温度が制御できる 床暖房でも良い 全電化でも可
冷房設備	1つのシステムで家全体を冷房 書斎のみ個別冷房
換気設備	1つのシステムで家全体を換気 熱交換型換気システムが望ましい 書斎のみ個別換気扇
掃除機	セントラルクリーナー（屋外に本体があり 各部屋に配管がしてある）
外観	メタリックで落ち着いた雰囲気
必要図面	1／50程度の平面図、立面図 概略の見積書

気密性能と断熱性能の詳しい説明は次のホームページを参照。<http://www.konsapporo.jp/index.html>